



＜高校生が伊那新校を考える！＞

10月7日（金）、いなっせにおいて第13回伊那新校再編実施計画懇話会があり、そこで2年生の探究のグループが「新しい学校」というテーマで発表をしました。

伊 那新校の目指す学校像は、探究を核とした学びを通して、自己実現と社会貢献を目指すこと、他者との協働を通して、多様な価値観を共有し人間性を育むこと、自主的な活動や創造的な活動を通して、主体性を育むことの3点です。

本校の総合的な探究の時間の取り組みは、伊那新校における探究の学びにつながるよう毎年改良を加えているところです。本校の探究の学びを支えていただいているのは、郷土愛プロジェクト（上伊那8市町村の産学官組織が構成団体となり、従来の枠組みを超えて協働しながら、次世代育成や地域づくりを実践しているプロジェクト）のご協力があることです。郷土愛プロジェクトで集めていただいた地域の方々それぞれのテーマの講師となって、生徒の皆さんへの支援をしていただいていることは、本当に感謝しています。

「新しい高校」のテーマの講師は、田中章さん（上伊那広域連合前事務局長）であり、グループ探究に丁寧に関わっていただきました。

田中さんから、「堂々とした素晴らしい発表だった。その後、その中の二人の生徒さんも入ったグループで話をしたが、二人とも、新校においても『地域と結び付いた学びが必要』『高校生が将来残りたい地域に』などの意見を言っていた。また、うれしくなった！やはり大人たちは子供たちの意見を聴くべき。共に学び、共に作っていくべきだと再確認できた」という感想をいただきました。



主な発表の要旨（グループ探究のまとめ）

- 1 新しい学びと学習環境について
 - ・生徒同士が教え合ったり、グループ討議がいつでもできる学習スペースがほしい。
 - ・教室全体や廊下などホワイトボード仕様にすればすぐに書いて教え合えたり先生にもその場で質問できる。 など
- 2 その他の施設設備について
 - ・進路室は進路関係の資料・教材がある部屋と先生に相談できる部屋2つほしい。
 - ・食堂や生徒向きのカフェをつくってほしい。 など
- 3 校則について
 - ・制服規定の変更。アルバイト原則禁止規定の見直し。 など
- 4 後期の個人探究のテーマ
 - ・学びやすい環境・施設とは。
 - ・誰もが安心して勉強できる第四の居場所をつくる。
 - ・学びへの意識を変える。受け身の学びから主体的な学びに。 など